

形成外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	粘膜や性器の処置におけるエムラ®クリームの使用についての有効性および既存の医薬品に対する優位性の解析と使用方法の標準化
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)形成外科 (職名)助教 (氏名)夏目(早川)将史
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 粘膜や性器の処置におけるエムラ®クリームの使用についての有効性および既存の医薬品に対する優位性の解析を行い、その使用方法の標準化をすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2020年1月から2025年12月までに当院を受診した患者さんのうち、粘膜や性器の処置において、エムラ®クリームなど局所に鎮痛作用を目的とした薬剤を使用した患者さん。</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2027年12月31日</p> <p>〔利用方法〕 患者さんのカルテを参照し、そこで得られる情報をもとに分析、評価を行います。研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができます。入手・閲覧を希望する場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報:エムラ®クリームの使用状況、処置時の疼痛の程度、バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度、合併症や副作用、等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに病院窓口、電話、郵送、あるいはメール送信、により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 形成外科 担当者：(職名)助教 (氏名)夏目(早川)将史 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22237) E-mail : hayakawa.masashi.810@mail.aichi-med-u.ac.jp